

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所クローバービーンズ		
○保護者評価実施期間	R7年1月27日		～ R7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年1月27日		～ R7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全な医療的ケアができる。看護師が多い。	どんな医療歴ケアがあるか一人一人の情報をまとめ看護師以外のスタッフも把握出来るようにしている。	療育の質を上げるための更なる研修を行う。
2	BCP対策をしている。	二カ月に一回緊急対応、避難訓練行っている。発電機や非常用の食品を備蓄している。	緊急時対応シュミレーション避難訓練に加え、交通安全教室を実施し道の歩き方や交通ルールを学び、安全に対する意識を育てる。
3	家庭では出来ない体験ができる。(お出掛け、イベントの充実)	日々、お渡ししている連絡帳が写真付きで、利用中の利用者の様子が分かりやすい。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個人にあった療育がまだ不十分。	医療的ケア(重心)が主に対象であり、個人の課題(できないこと)を療育に直接結びつけることが難しい。	他社へ見学、又経験ある方にも入っていただきスタッフへ直接アドバイスをいただいている。
2	入浴や注入の時間もあり、個々にリハビリを利用時毎に実施出来ていない。	入浴や注入の時間があり、時間が取れない事がある。	土曜日や長期休み等の1日利用の際には特に、すき間時間を確保しリハビリの実施を行う。
3	保育所や幼稚園との交渉や他の子どもとも交流の機会が少ない。	地域に当事業所がまだまだ認知されていない事や保育所や幼稚園との関りが少ない。	保育所や幼稚園との連携活動を行いもっと地域の子ども達とつながりを持つ事が必要。